

鐘の音 Kane-no-ne

パートナーシップさいたま
(さいたま市男女共同参画推進センター)

広報誌
vol.25
2011.11発行



▲〈しゅぼしゅぼ〉とは!?
実は、空気を抜く道具です。「楽しそう！」
(8/18「〈しゅぼしゅぼ〉でさぐる、
空気の分子とその運動」)

▲「私の細胞って、丸いんだ！」
オオカナダモやバナナ、自分の細胞を、
自分で組み立てたけんび鏡で見ました。
(8/20「けんび鏡で自分の細胞を見てみよう」)

8/18~20実施「夏休みおもしろ科学実験～理工系をめざす女子支援～」より

特集 一人で抱え込んだ悩み…相談してみませんか
相談事業のご案内／女性の悩み相談 相談室から … 2~3

- 12月以降の講座・フェスタのお知らせ…………… 4
- ただいま活動中 「さいたま中央地区更生保護女性会」 …… 4
- 講座を実施しました…………… 5
- Book Navi 図書のご案内…………… 5
- 施設・相談のご案内／ほっとたいむ…………… 6

一人で抱え込んだ悩み…相談してみませんか



さいたま市では、家庭や地域、職場などで様々な悩みを抱える女性を支援しようと、専門の女性相談員がその悩みにおこたえしています。

各相談は無料、秘密は厳守します。悩みを抱え込まずに、一度相談してみませんか。
なお、平成22年度の各相談内容は、以下のとおりです。

1 女性の悩み 電話相談

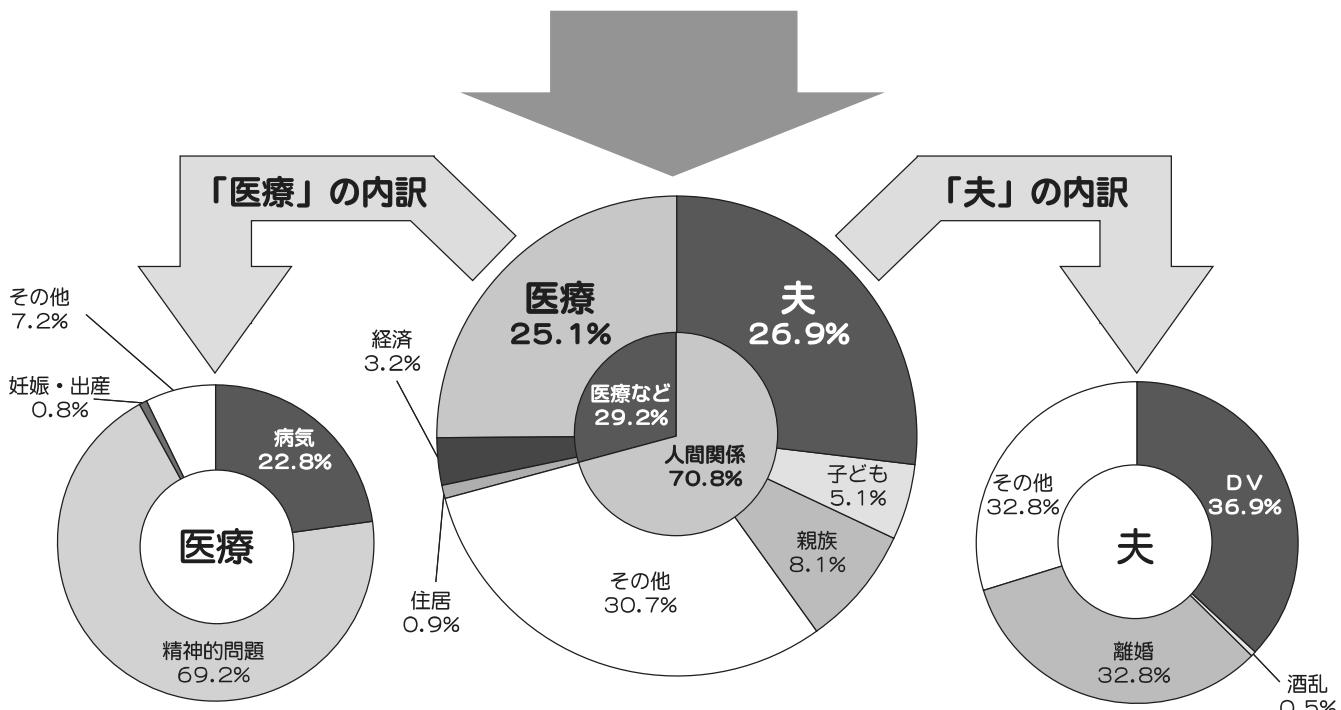
- ◆家庭や地域、職場のトラブル、ママ友との人間関係
- ◆自分自身の悩み
- ◆夫との関係（DV、離婚、酒乱など）、デートDV
- ◆医療に関する事（精神的な問題、病気、妊娠・出産など）

医療など
29.2% (1,608件)

人間関係 70.8% (3,897件)

総相談件数 5,505件

この中でも特に多いのが、「夫」と「医療」についての相談です。



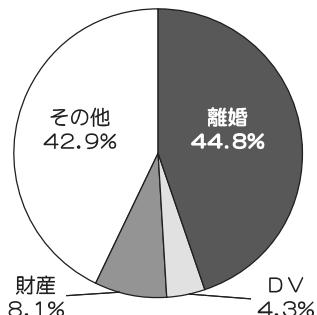
◆「精神的問題」が多い
精神的問題に関する相談は、
956件あり、全体の17.4%
を占めています

◆「DV」と「離婚」が多い
DVについては547件の
相談があり、夫からの暴力
に悩む女性が少なからずい
ることが分かります

- ◆婦人相談員が悩みを電話で伺います（1回あたりの目安30分）。
- ◆相談を5か所（パートナーシップさいたま、女・男プラザ、浦和区役所・中央区役所・岩槻区役所の各女性の相談室）で実施しています。お近くのところにお電話ください。なお、パートナーシップさいたまでは土日祝日も含め毎日行っています。
- ◆市内在住、在勤、在学の女性が対象です。
詳しい実施日時、場所は裏表紙の [相談のご案内](#) をご覧ください。

2 法律相談

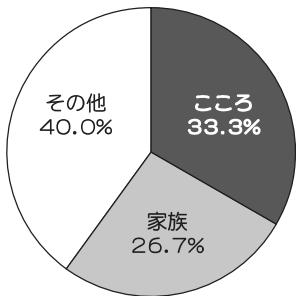
～家庭、職場、近隣等で生じる難しい問題に～
◇離婚に関する調停、慰謝料、養育費、財産分与、親権
◇DV、セクシュアル・ハラスメント
◇相続、住宅ローン、経済的困窮 など



- ◆女性の弁護士が直接相談に応じます。
- ◆1人あたり30分、年度に1回のご利用となります。
- ◆相談を2か所（パートナーシップさいたま、女・男プラザ）
で実施しています。
ご予約のお電話をお待ちしています。
- ◆市内在住の女性が対象です。

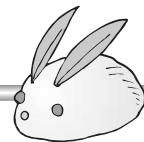
3 心の健康相談

～女性の様々な問題から生じる悩みに～
◇気分が落ち込む、何となく不安、やる気が出ない
◇精神的問題を抱える家族とどう接すればよいか
◇思春期の悩み、子育て中の不安 など



- ◆専門の女性の医師が直接相談に応じます。
- ◆1人あたり45分、年度に1回のご利用となります。
- ◆相談をパートナーシップさいたまで実施しています。
ご予約のお電話をお待ちしています。
- ◆市内在住の女性が対象です。

女性の悩み相談相談室から



語るということ

「日々の生活」とは、夫・子ども・身内・ママ友・先生・医師・職場など、色々な人と関わることです。

楽しい関わり・有意義な関わり・支え合う関わり・義務的な関わり…色々な関わり方を、日頃何気なく当たり前のようにこなしているようですが、本当はそう簡単にいくことではないと、誰しも感じているのではないでしょうか。

「相手は、なぜあんなことを私に言ったのだろう?」「嫌われているように感じる。無視された」「私の言いたかったことはきちんと伝わっただろうか。誤解されたのではないだろうか」

相手の言葉や表情から、私たちは色々な感情を読み取ります。励まされたり、パワーをもらったり、幸せを感じたりします。しかし、時には傷つき悩み疲れ果て、人と関わることを避けるようになることがあります。

一人悩むとき、同じ考え方だとられ、周りが見えなくなっていることもあるでしょう。

しかし、悩みを人に語ることで、自分や相手の気持ちに気づいたり考えを整理できたりします。自分には到底思いも寄らない見方や考え方のヒントや情報をもらうこともあります。

自分と周囲のとり方を”自由に変化させること”の大切さに気づくと、自分の立っている場所が見えてきます。

「語る」ということは、”相手に”語ることではなく”自分自身に”語ることなのかもしれません。何か悩みがあったら、こんなことを相談するのは恥ずかしい…などと思わず、安心して自分自身と語り合うためにご利用ください。

(婦人相談員M)

12月以降の

講座・フェスタのお知らせ

★すべて託児付き
(1歳6ヶ月以上の未就学児)

ひとり親家庭の就職支援講座と個別相談

回	内 容	講 師
1	Excelの基礎知識、データ入力からグラフ作成等、就労に不可欠なExcelの操作を学ぶ(初心者向け)	パソコンインストラクター 2名
2	☆講座全3回を修了した方のうち、希望した方に対し受講証明書を交付します	
3	個別キャリア相談(希望者のみ)	キャリア・コンサルタント
4		

日時 【講座】1/12~26(毎週木曜日) 13時~17時
【相談】2/2(木) 9時~17時のうち1時間
会場 【講座】生涯学習総合センターO A研修室
【相談】パートナーシップさいたま会議室3
定員 【講座】20名 【相談】7名(ともに先着順)
対象 市内在住、求職中で、経済的に困難な状況にある方(ひとり親家庭、生活保護受給、市民税・県民税が非課税又は減免、その他これに準じる方)
費用 テキスト代1,680円 申込 12/5 9時より

人 生 塾

「記録写真からアート作品づくりまで、

楽しく学んでみませんか

～男女共同参画の視点／生活の中に溶け込んで～」

回	テ マ	講 師
1	“写真”とは何なのか?	(社)日本写真家協会会員、 日本旅行写真家協会会員
2	体験実習	かわいまさな 河相正名さん
3	“写真”を持ち寄って	

日時 2/24~3/9(毎週金曜日) 10時~12時
会場 パートナーシップさいたま会議室3
定員 24名(先着順) 費用 無料 申込 2/6 9時より

会長(金澤千津子) さいたま中央地区更生保護女性会
心の交流を図つていきたいと思います。
さいたま中央地区

ながら、”明るい社会”づくりのためにいろいろな団体のみなさまと一緒に活動にも取組んでいます。これからも学びあいを訪問し、教育機関との連携、地域の方々と交流を深めることであります。

さらに、会員の資質向上を図るために各種研修、地域の方々の募集を募つて講演会も開催しています。今年度は区内全小・中学校、幼稚園を訪問し、教育機関との連携、地域の方々と交流を深めることであります。

アーチークラブです。女性のもつたたかさ・細やかさをいかして、様々な地域活動を開いています。例えば、更生保護施設での「絵手紙を書く会」や料理ボランティア、児童自立支援施設での運動会・演芸会への応援参加、与野公園ばらまつりや区民まつりにおけるチャリティーバザー・模擬店の出店、地域の方々と交流を深めることであります。

さいたま中央地区更生保護女性会は、女性としての立場から、地域社会のための啓発活動を行うとともに、青少年の健全な育成を助け、犯罪をしのぐ目的とするボランティア活動を行っています。



▲研修講演会の様子

もしもの時に誰に何を伝えたいですか。

(企画・実施 さいたま市女性学研究会)

回	内 容	講 師
1	人生のしめくくりのために記録を残すことはなぜ必要か	NPO法人
2	介護、遺言など自分の意思を伝えるための方法	ライフ・アンド・エンディングセンター理事長 須齋美智子さん
3	葬儀やお墓を自分はどうしたいのか	

日時 1/8(日)・15(日)・21(土) 10時~12時

会場 パートナーシップさいたま会議室3

定員 24名(先着順) 費用 無料

申込 12/5 9時より

第11回 女・男フェスタさいたま ～いま！考え方 男女共同参画～

(さいたま市誕生10周年記念事業)

(主催 さいたま市男女共同参画推進団体連絡協議会/さいたま市)

日時 1/28(土) 11時~16時

1/29(日) 10時~16時

会場 生涯学習総合センター

(シーソー大宮センタープラザ) 9階・10階

内容 ●さいたま市男女共同参画推進団体連絡協議会の加盟団体による展示・ワークショップ・ステージ発表

●講演会「いま！考え方 男女共同参画」

講 師 埼玉県特別参与・
前大利根町長
柿沼トミ子さん



●上映会「無常素描」

2011年 日本映画
東日本大震災の復興がテーマ
のドキュメンタリー

▲昨年度の展示の様子

ただいま活動中 「さいたま中央地区 更生保護女性会」

さいたま市男女共同参画推進団体連絡協議会の加盟団体を紹介します

講座を実施しました

参加者の感想から



プラッシュアップ&リラクゼーションセミナー

- 6/16 病気と食べ物の関係について、白米やパンよりも玄米を食べる、肉は野菜と一緒にとる、ミネラル分をとることを試そうと思います。
- 6/23 パーソナルカラーに興味があったので、受講できてよかったです。「笑顔とファッショントレーニングは自分を助ける」の言葉が印象に残りました。
- 6/30 筋肉をつけ体脂肪を減らし健康的に痩せる大切さなど、理想的な体型を手に入れるには、



6/30の様子
継続していく
ことが何より
なんだと、先
生のおっしゃ
るとおり改め
てそう思いました。

快適に働き続けるためのハラスメント対策セミナー

- 6/22 パワー・ハラスメントについて、時間や日付など日記風に、詳細にいじめやハラスメントの言われたことやされたことなどをメモすることが重要だと思いました。証拠を残すことは非常に重要です。
- 6/29 セクシュアル・ハラスメントなど、「ハラスメントは性癖」という言葉にハッとした。被害者の心理のお話が参考になりました。また、被害を受けたことを会社側に言った方が職場のため、と言っていただき、よかったです。



情報・資料コーナーで貸し出ししている図書のご案内です。

『女が国家を裏切るとき』

菅聰子 著 2011年 〈岩波書店〉

この本は、「女学生、一葉、吉屋信子」を例に個人（特に女性）が国家の暴力（戦争）に銃後から協力していく課程を文学・報道等を通して考察しています。

日本が近代国家に成長する時期、日清戦争は人々の国民化に大きな役割を果たしました。例えば皇后が負傷兵のため「包帯作り」を行い、上流婦人・女学生・「芸娼妓」まで広がり、戦費の献金にも応じました。皇民として一体感を共有できた瞬間だったでしょう。しかし戦勝記念奉迎の際は、「芸娼妓の卑賤なる姿」は素人風に装うことで参加を許されたと新聞は報じています。

法的な男女差別の下、更に女性の中にも大きな格差を制度化しながら、日本の近代化は進んだのです。

「女の友情」をテーマに多くの読者を得た吉屋信子は、太平洋戦争の従軍作家としても活躍します。今春急逝された菅さんを偲び、紹介させていただきました。

（ト部喜子）

夏休みおもしろ科学実験～理工系を目指す女子支援～

（表紙写真参照）

- 8/18 しゅぼしゅぼすると空気が入ると思ったけど、空気が抜けるとは思いませんでした。ジュースが元に戻るのがびっくりしました。
- 8/19 電気が通る物、通らない物を今日は探しました。いつもは使わない物や、いつも使う身近な物に金属テスターを使って、予想を立てながら調べていくのは、ドキドキわくわくして、楽しくできました。
- 8/20 けんび鏡の使い方は習いましたが、自分で作ったことはなかったので、いい経験になりました。また家で様々な植物の細胞などを見てみたいです。

男女共同参画の視点から国際交流を考える

- 8/30 フィリピンのバナナ料理からなにがわかる？
- 9/7 手工芸品でバングラデシの女性が変わった？
- 9/14 世界における男女共同参画の動き
- ★9/14 女性・男性の社会・家庭における役割・仕事の変遷、現状を受講生がイメージし、講師とともに確かめてから本論へ。ジェンダー問題、国、国連の様々な取組などの解説がなされました。
- 最新の国際議論「根本的なジェンダー問題」への対応の一つの事例として、西アフリカのマリ共和国などでは、「自分のための時間が増える！女の子も学校に行ける！さらなるエンパワーメント！」が掲げられました。発展途上国の女性へのエンパワーメントを理解することが、本講座を受講しての感想でした。（武藤勝美）



『女の活路 男の末路 老いの時代を生き抜くチカラ』 袖井孝子 著 2008年 〈中央法規出版〉

本書は「老いの時代を生き抜くチカラ」を養うのに啓発的なことが随所に述べられています。

「近年、女性の職場進出が盛んになり、『女は家にいるべきだ』という意見は見られなくなりました。『男は仕事、女は家事育児そして仕事』という新性別役割分業が成立している」と述べられていますが、その通りだと思います。

ところで、全巻を通して定年退職後の男性の問題が重要なことのようにも受け取れます。

どこに出かけ、何時に帰るのかうるさく妻へ問い合わせ、終日家でぶらぶらして家事を手伝うわけでもなく「産業廃棄物」や「粗大ゴミ」化している夫の存在が述べられています。このようでは男の不本意の末路です。県民活動総合センターでも「地域デビュースポット」を設け、定年退職者を支援しています。定年後も地域社会で、健康で意欲的に生活を送れるのが望ましいことです。

（武藤勝美）

施設のご案内

パートナーシップ
さいたまひとひと
女・男プラザ

場所	大宮区桜木町1-10-18 シーノ大宮 センター・プラザ3階	緑区中尾1440-8 プラザイースト3階 ※浦和駅東口よりバス、[緑区役所入口]下車 又は東浦和駅よりバス、「プラザイースト南」下車
開館時間	平日 9:00~21:00 土・日・祝日 9:00~17:00	9:00~17:00
休館日	第4日曜日、年末年始	月曜日、年末年始

施設の利用

男女共同参画の推進を目的とする活動にご利用ください。
(パートナーシップさいたまの会議室・プレイルームと
女・男プラザの団体活動室は、利用登録が必要です。)

情報・資料コーナー、交流コーナー

本や雑誌、行政資料、ビデオなどがあります。
閲覧、貸出ができます。ちょっとした話し合いに利用できる
交流コーナーもあります。

お問い合わせ

パートナー
048-642-8107

048-875-9966

相談のご案内

●女性の悩み電話相談

女性の生き方、夫婦、親子の問題、職場や近隣の人間関係などの相談に応じます。

パートナーシップさいたま

☎ 048-643-5813

月～金／10:00～20:00 土・日・祝／10:00～16:00

ひとひと
女・男プラザ

☎ 048-875-9653

金／10:00～17:00

浦和区役所 女性の相談室

☎ 048-829-6129

月・火・水・金／10:00～17:00

中央区役所 女性の相談室

☎ 048-840-6132

月・水／10:00～17:00

岩槻区役所 女性の相談室

☎ 048-790-0158

月・水／10:00～17:00

●女性のための法律相談（予約制）

女性の弁護士が相談に応じます。

パートナーシップさいたま

☎ 048-642-8107

第2・第4水曜日／13:00～15:30

ひとひと
女・男プラザ

☎ 048-875-9966

第1・第3火曜日／13:00～15:30

●女性のための心の健康相談（予約制）

専門の女性の医師が相談に応じます。

パートナーシップさいたま

☎ 048-642-8107

第4金曜日／13:30～16:30

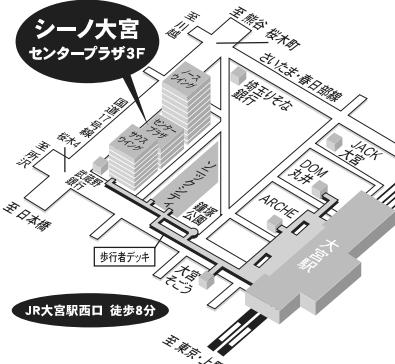
◆相談は無料です。◆秘密は厳守します。

ほつとたいむ



新年に向けて、娘が、百人一首を覚えていました。今、改めて意味を読んでみると、相手を思う気持ちや、取り札に向かつたものでした。今まで、大会になると緊張しつつ、取り札を読みながら、とひたすら取り札を読みました。今は、恋文のような句には、初めは抵抗があったようです。現代はメールなど、電話やメールがなかなか強い時代ならではの、一首にこめた力強さを感じます。古典を学ぶことで、奥が深い時代になりました。(秋山典子)

自分が学生の時は、国語の課題で覚えなければならぬから、とひたすら取り札を読みながら、突然「なんだか切なくて暮れ時、突然「なんだから」と泣き始めました。楽しくて泣けた一日が終つてしまふ寂しさなのか、娘は妙にイララとして、トゲトゲしくハ一年生く八年生の娘が、ずつが分でも理由がわからぬといながら。また、中学校一年生く八年生の娘が、ずつが出てくる」と泣き始めました。楽しくて泣けた一日が終つてしまふ寂しさなのか、娘は妙にイララとして、トゲトゲしくハ一年生く八年生の娘が、ずつが分でも理由がわからぬといながら。また、中学校一年生く八年生の娘が、ずつが出てくる」と泣き始めました。楽しくて泣けた一日が終つてしまふ寂しさなのか、娘は妙にイララとして、トゲトゲしくハ一年生く八年生の娘が、ずつが分でも理由がわからぬといながら。また、中学校一年生く八年生の娘が、ずつが出てくる」と泣き始めました。楽しくて泣けた一日が終つてしまふ寂しさなのか、娘は妙にイララとして、トゲトゲしくハ一年生く八年生の娘が、ずつが分でも理由がわからぬといながら。また、中学校一年生く八年生の娘が、ずつが出てくる」と泣き始めました。楽しくて泣けた一日が終つてしまふ寂しさなのか、娘は妙にイララとして、トゲトゲしくハ一年生く八年生の娘が、ずつが分でも理由がわからぬといながら。また、中学校一年生く八年生の娘が、ずつが出てくる」と泣き始めました。楽しくて泣けた一日が終つてしまふ寂しさなのか、娘は妙にイララとして、トゲトゲしくハ一年生く八年生の娘が、ずつが分でも理由がわからぬといながら。また、中学校一年生く八年生の娘が、ずつが出てくる」と泣き始めました。楽しくて泣けた一日が終つてしまふ寂しさなのか、娘は妙にイララとして、トゲトゲしくハ一年生く八年生の娘が、ずつが分でも理由がわからぬといながら。また、中学校一年生く八年生の娘が、ずつが出てくる」と泣き始めました。楽しくて泣けた一日が終つてしまふ寂しさなのか、娘は妙にイララとして、トゲトゲしくハ一年生く八年生の娘が、ずつが分でも理由がわからぬといながら。また、中学校一年生く八年生の娘が、ずつが出てくる」と泣き始めました。楽しくて泣けた一日が終つてしまふ寂しさなのか、娘は妙にイララとして、トゲトゲしくハ一年生く八年生の娘が、ずつが分でも理由がわからぬといながら。また、中学校一年生く八年生の娘が、ずつが出てくる」と泣き始めました。楽しくて泣けた一日が終つてしまふ寂しさのか



自転車でお越しの場合、シーノ大宮駐輪場が無料でご利用になれます。



広報誌「鐘の音」のご感想、ご意見をお寄せください。
郵便、FAX、E-mailでパートナーシップさいたままで
お願いします。

『誌名「鐘の音」』

大宮の古い地名「鐘塚」に建てられた「パートナーシップさいたま」から、男女共同参画推進の鐘の音を響かせたい、その願いを込めて名づけました。

パートナーシップさいたま広報誌「鐘の音」vol.25 2011年11月25日発行
<編集・発行>

さいたま市男女共同参画推進センター（愛称 パートナーシップさいたま）

編集員／秋山典子・五十嵐茂樹・石塚寿美恵・ト部喜子・武藤勝美

〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-10-18シーノ大宮センター・プラザ3階

電話 048-642-8107 FAX 048-643-5801

E-mail: danjo-kyodo-sankaku@city.saitama.lg.jp

7・11・3月発行(年3回)

この広報誌は4,300部作成し、1部当たりの印刷経費は17.5円です。